

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

テトラクロロエチレンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

5 B 4 6 2 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203 「魚類毒性試験」 (1992年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： テトラクロロエチレン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 試験濃度 (設定値)： 対照区, 助剤対照区, 2.0, 3.5, 6.3, 11.2
および20.0mg/L (公比; 1.8)
(助剤濃度; 100 mg/L, HCO-30および2-メトキシエタノール使用, 助剤濃度等比)
- 6) 試験液量： 5.0L
- 7) 連数： 1 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 10尾/濃度区
- 9) 試験温度： 24±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 被験物質の分析： G C 法

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：測定濃度の設定濃度に対する割合はすべての濃度区において
±20%以内であった。したがって、結果の算出は設定濃度に基づいて行った。
- 2) 96時間の半数致死濃度 (LC50)：14mg/L
(95%信頼区間：11mg/L～19mg/L)